



株式会社 日本駐車場サービス

JPSニュースレター

Vol. 20

弊社の最新情報はコチラをご覧ください→<http://lucky-parking.com>

2017. 4. 1

次世代自動車、自動運転、UBER、駐車場シェアリングについて

ITやAIの急速な発達でビジネス環境が激変期を迎えています。私たちの業界も大きな変化が起き始めています。

「時間貸し駐車場事業」に大きく影響を与え始めている、ニュービジネスや、テクノロジーなどについて少しご紹介させて頂こうと思います。

次世代自動車について

世界初の量産型電気自動車の三菱のアイ・ミーブ発売から10年が経ちました。

アイ・ミーブに続き日産からリーフが発売され、電気自動車が一気に注目を集めました。

時を同じくして、イーロン・マスク氏が率いるテスラも大きな話題を提供し続けています。

最近ではトヨタがプラグインハイブリッドのプリウスを発売し話題になりました。このプリウスは電気自動車最大の弱点である航続距離の短さを補うもので、当面の主役になる可能性があります。

かたや、水素自動車も大きな話題になっていますが、インフラ整備に大きなコストがかかること、電気自動車のコモディティ化(構造が単純なので新興国の新興メーカーの台頭なども予見できる)も進むと考えられますので、次世代の主役は電気自動車間違いなしとの見方が優勢です。

また、電池技術の飛躍的向上と大量生産により、純粋な電気自動車の航続距離もどんどん伸びると考えられるので、電気自動車の優勢は間違いなしものと考えています。

時間貸し駐車場との関係性では、極論すれば「コンセント」さえあれば電気自動車は燃料補給できますので、電気自動車のインフラになれる要素があります。(弊社でも10年前から充電用コンセントの設置をすすめています。)

自動運転技術について

AI(人工知能)の目覚ましい発達により、自動運転の実用化が秒読み段階に入っています。

究極の自動運転車は運転手が不要になります。例えば、自宅から目的地までが近距離であれば、目的地まで送迎してもらえるので、自宅車庫以外の駐車場は不要になります。目的地が自宅から少し離れていれば、目的地まで送ってもらい、自分で近くの駐車場に停まることになると考えられますが、“少くく”離れた場所で特に支障はないので、地価の高い一等地にコインパーキングを作る必要性は薄れるかもしれません。

以上のような高度な自動運転車の実現にはもう少し時間がかかりそうですが、基礎技術は完成しているので、時間貸し駐車場のニーズは大きく変わる可能性がありますし、減る可能性が高い様に思われます。(カーシェアリングとの組み合わせが理想的に進めば、自家用車の台数が大幅に

過減る確率が高いと考えられることから、その可能性は高そうです。)

UBER(ウーバー)の破壊力

日本ではまだごく一部の導入ですが、UBERの台頭には戦々恐々としている業界の方も多いのではないのでしょうか？

会社設立から数年で企業価値は7兆円とも言われるほどの急成長を遂げています。

極最近でコンプライアンスの問題も囁かれています、同業も多く出てきているので、自家用車のシェアリングが衰退する可能性は低いと思います。

このUBERがシェアを伸ばせば伸ばすほど、自家用車の台数は減りますし、街中の時間貸し駐車場の需要も減ります。

UBERは自動運転にも注力しているので、目が離せない存在です。

(注)UBER:アメリカ発のスマホを使った配車サービス。(合法白タク)

駐車場シェアリングサービス

「アキッパ」や「軒先パーキング」などのITを駆使した駐車場シェアサービスが存在感を増しています。トップの「アキッパ」は駐車場箇所数(台数ではない)で、タイムズ、リパークに次ぐ3位に急浮上してきています。

これを見た、タイムズやリパークが参入を宣言していますし、他業界からリクルートや楽天も参入を表明しています。

駐車場業界の新しい台風の目といったところ。このサービスが延びれば、旧来の「コインパーキング」の需要は減る方向に向かいます。ですが、共存共栄も可能ではないかと考えています。例えば、弊社の様な零細駐車場会社が今更プラットフォームを目指するのは現実的ではないと思いますが、既存のプラットフォームに乗っかる手はあるように思います。(弊社が用地を確保して、アキッパのサイトで貸し出すというような方法など)

上のUBERもしかり、既述のカーシェアもしかり、所謂シェアリングエコノミーの台頭は押し戻すことのできない潮流です。

我々もその潮流に乗り遅れないように情報収集を怠らない様にしていきたいと思えます。

低環境負荷のモビリティサービスをご提供することで社会に貢献いたします。

株式会社 日本駐車場サービス

<http://lucky-parking.com>

本社
大阪

〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目1番14号
TEL 06-6233-5552 FAX 06-6233-5553

名古屋

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号
TEL 052-209-9513 FAX 052-209-9514

仙台

〒980-0804 仙台市青葉区大町1丁目2番1号
TEL 022-217-6961 FAX 022-217-6962
